

和歌山外食産業活性化のための ～Eber65～

大阪経済大学 岡島研究室

池田佑太 高井佑旗

根本裕賀 松家之宏

南中美香麗 村上由佳 山岡優大



高齢者の外食の消費量に着目した理由

- 消費税増税に従い裕福でない世帯、特にその高齢化世帯の必要財に影響を及ぼす可能性がある
- その必要財の代表が、食料品である
- そこで我々は、高齢者世帯の外食の消費量に着目した



アウトライン

- 和歌山県の現状分析
- 分析
- 施策と効果
- 出典

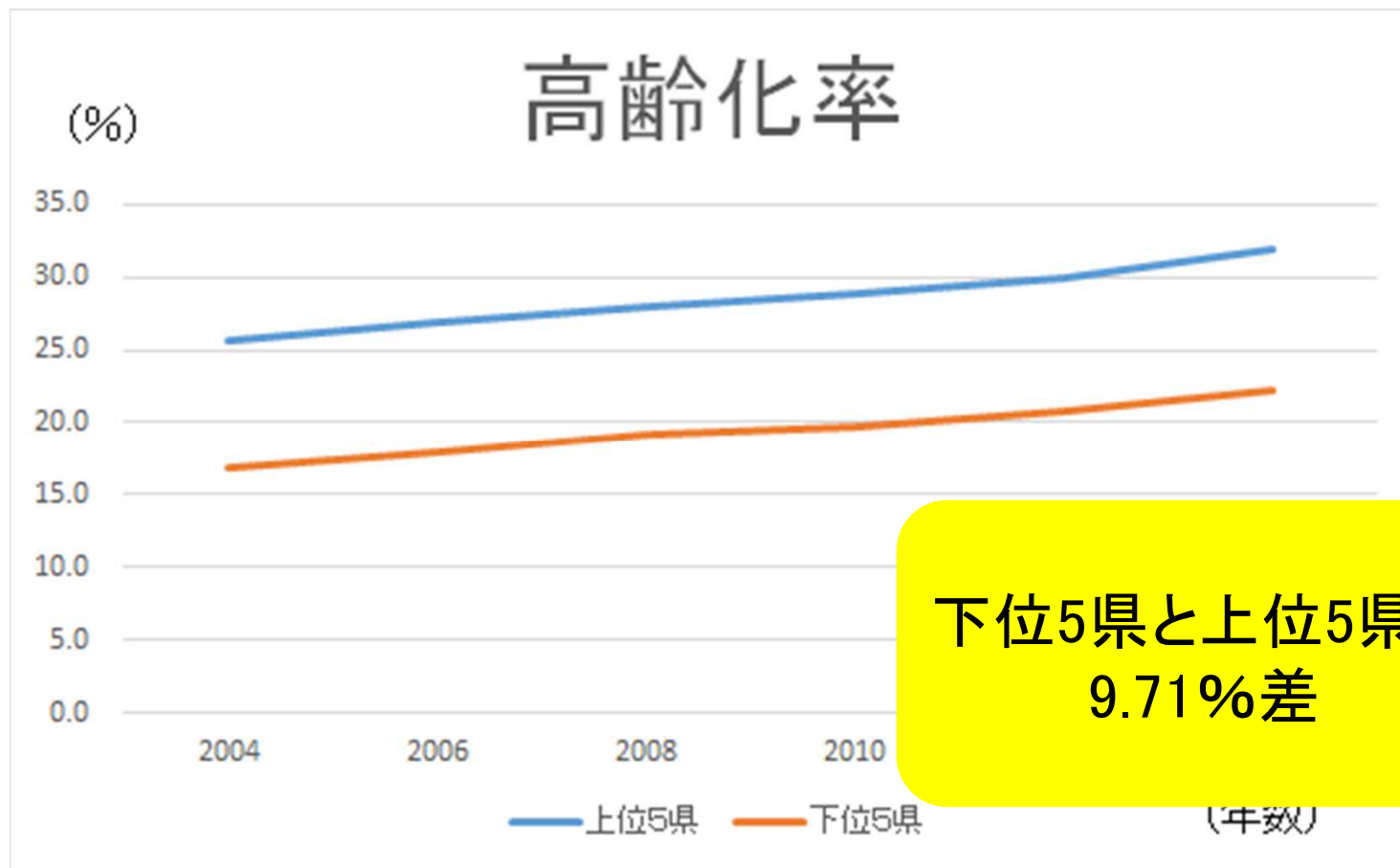




和歌山県の現状分析



人口の30.5%が65歳以上(2014年)



※下位5県

沖縄
東京
神奈川
愛知
滋賀

※上位5県

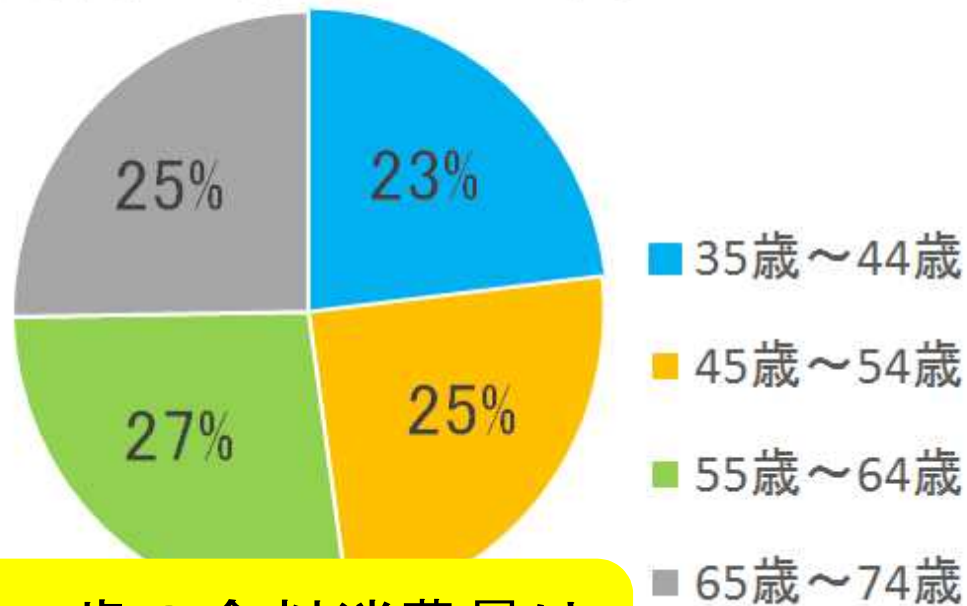
秋田
高知
島根
山口
和歌山

出典:「人口推計」(2004~2014/2年ごと) 総務省統計局



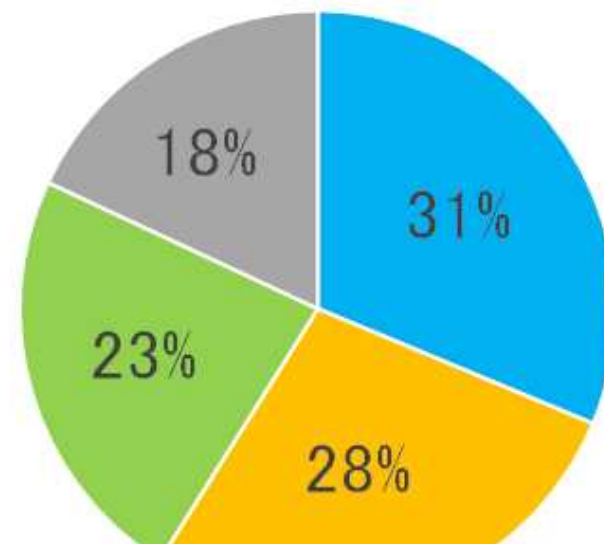
和歌山県内における食料全体と外食の消費量

食料全体(2014年)



65歳～74歳の食料消費量は他の世代と大きく変わらない

外食(2014年)

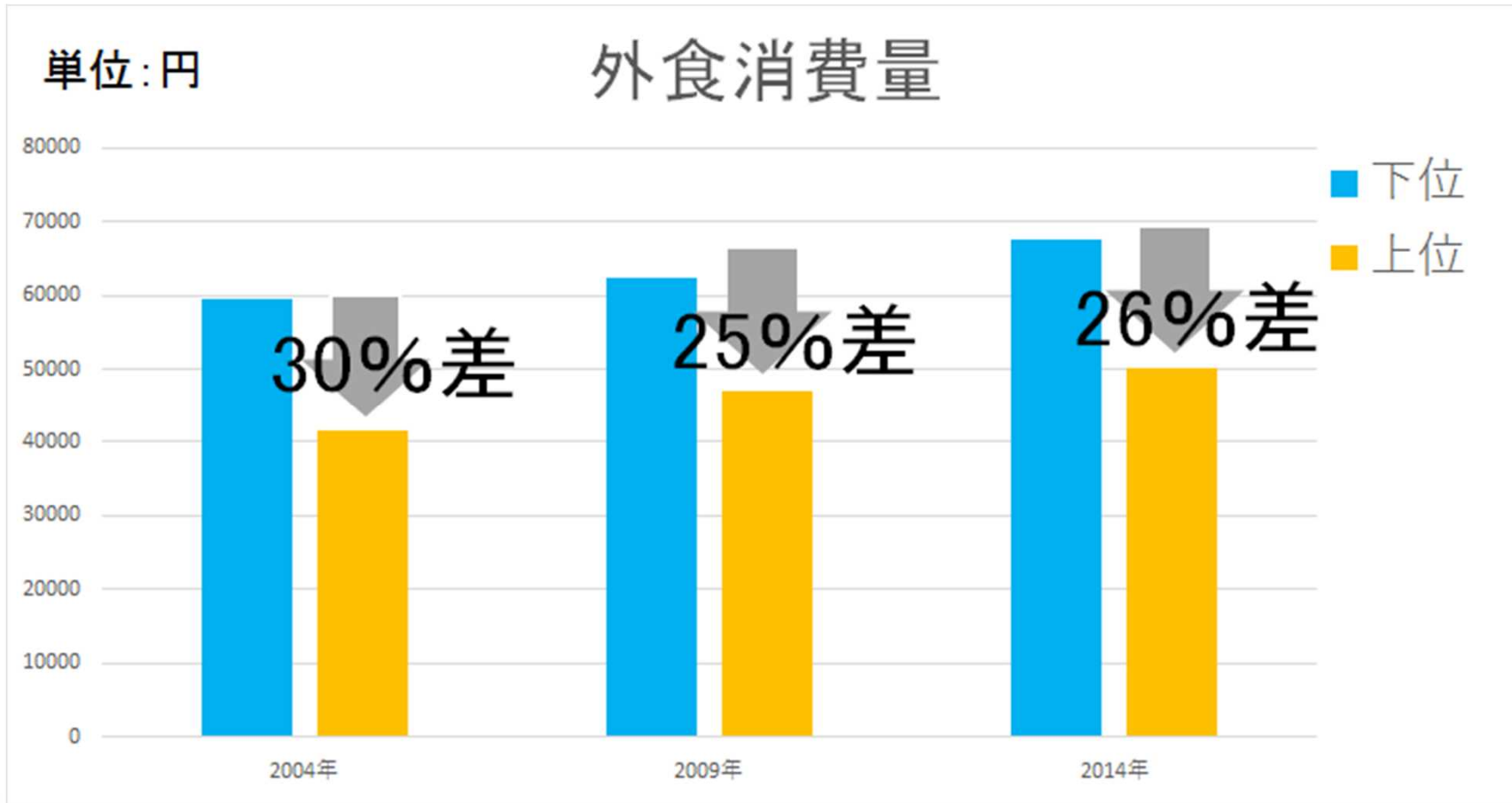


他の年代と比べ、65歳～74歳の消費量には大きな差がある

出典:「全国消費実態調査」(2014) 総務省統計局統計調査部消費統計課



外食消費量の比較



※下位5県
沖縄
東京
神奈川
愛知
滋賀

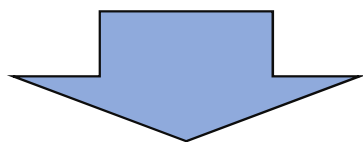
※上位5県
秋田
高知
島根
山口
和歌山

出典：「人口推計」（2004/2009/2014） 総務省統計局



本研究で我々の行ったこと

- 今までの記述統計を見ると、高齢化率の高い都道府県は外食の消費が低いのかもしれない
- 本当に高齢化率の高い都道府県は外食の消費が低いのか？これを重回帰分析で定量分析した



その結果から施策提言を行った





分析



変数について

- 自動車普及率

「消費実態調査(2004,2009,2014)」総務省統計局統計調査部消費統計課

- 調理食品消費量

「消費実態調査(2004,2009,2014)」総務省統計局統計調査部消費統計課

- 飲食店数/各都道府県面積

「衛生行政報告例(2004,2009,2016)」厚生労働省



モデル式

$Y_{i,t}$ (外食消費量)

$$= \beta_0 + \beta_1 \text{一人当たりGDP}_{i,t} + \beta_2 \text{高齢化率}_{i,t} + \beta_3 \text{自動車普及率}_{i,t} \\ + \beta_4 \text{調理食品消費量}_{i,t} + \beta_5 (\text{飲食店数/面積})_{i,t} + \text{年次ダミー}_{i,t} + \varepsilon_{i,t}$$

※外食と調理食品は65歳から74歳の消費量



記述統計

変数	観測個数	平均	標準偏差	最小値	最大値
外食6574	138	7912.681	1821.024	4119	13496
一人当たりGDP	138	3715774	776333.1	2265264	8070020
高齢化率	138	24.36014	3.731745	15.5	32.6
自動車普及率	138	91.1558	7.031867	58.4	97.8
調理食品6574	138	7041.391	1238.949	4107	10316
飲食店数／面積	138	7.786328	15.59055	0.7420852	87.404879



推量結果

説明変数	Model
一人当たりGDP	0.0002899 (1.49)
高齢化率	-238.6892* (-4.74)
自動車普及率	-26.63474 (-1.03)
調理食品65歳～74歳	0.2961435* (2.4)
飲食店数/面積	12.08624 (0.84)
定数項	11691.91* (4.28)
観測値	138
年次ダミー	✓
決定係数	0.5369

*は5%有意水準を表す



分析結果について

- 調理食品消費量は5%有意水準で外食消費量に対して正である
- 高齢化率は5%有意水準で外食消費量に対して有意に影響がある





施策と効果



分析結果の考察

外食の消費量を増加させるには、
高齢者に調理食品消費量に着目した政策
が有意であると考えた



高齢者の外食消費に対する解釈



外食したいけど…
体が不自由で外出しづらいなあ



外食したいけど…
高齢者向けの食事はあるのかなあ



施策の目標

- 体が不自由などの身体的理由で外出が困難な高齢者に外食を提供する
- さまざまな飲食店から、簡単に自分の好みに合った飲食店を見つけてもらう
- 外食の場で、高齢者同士の新しい交流の場を設け、外食に対する楽しさを見つけてもらう



高齢者の外食と調理食品の消費量を上げる



施策

外食の消費を増やすには？

➡ **高齢者を対象とした会食**

調理食品の消費を増やすには？

➡ **宅配サービスの実施**



会食

対象: 高齢者

概要: 自宅から会食場までの送迎サービス
高齢者が 食べやすい食事を提供する

効果

高齢者同士の交流を深めることができる

外食の習慣づけを促すことができる



Eber65 政策

対象

県内65歳以上の高齢者

概要

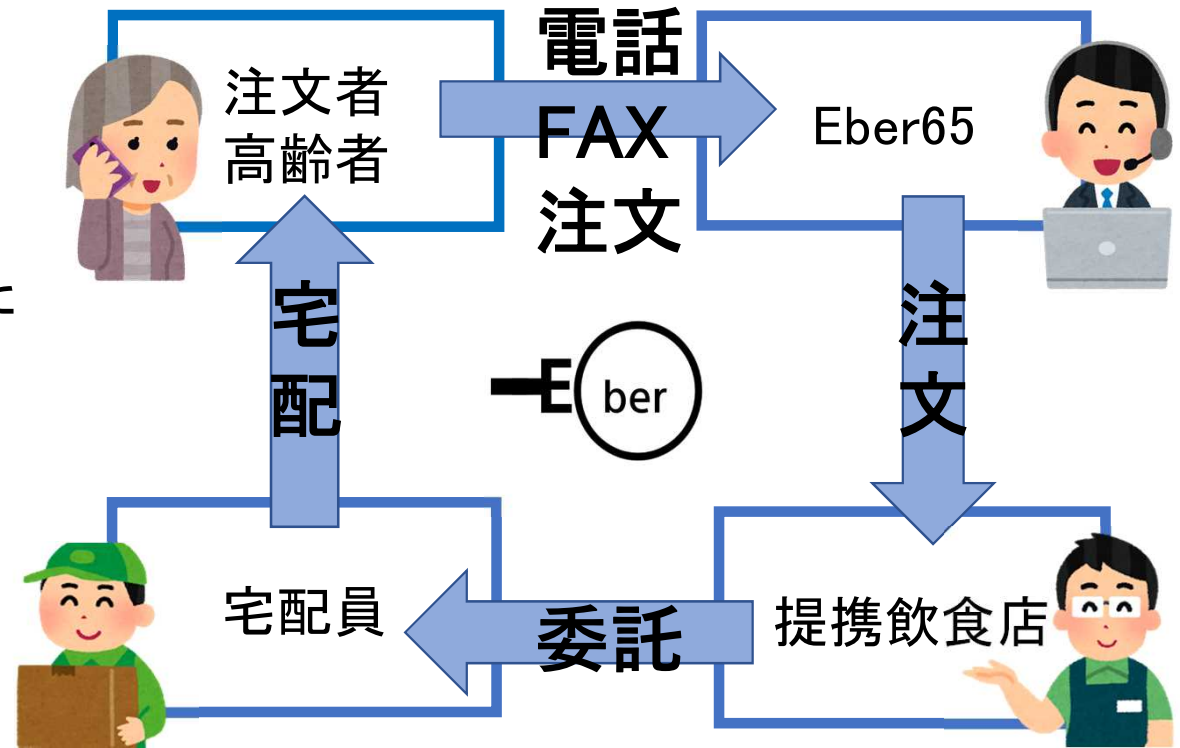
高齢者向けのメニューを取り上げた冊子から高齢者が好きな店舗の料理を注文する

クーポンを発行し利用を促す

効果

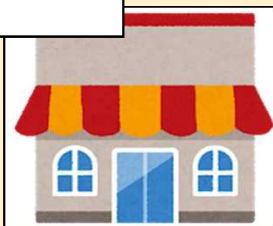
消費者：調理食品を注文しやすくなる

店側：新しい顧客を獲得できる



冊子の例

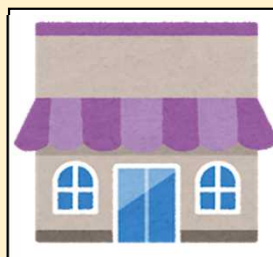
①



住所：和歌山県〇〇市〇〇町〇-〇



②



住所：和歌山県〇〇市〇〇町〇-〇



③



住所：和歌山県〇〇市〇〇町〇-〇



☎073-××××-××××

クーポン

タンパク質や脂質などの
栄養価、産地を詳しく
記載

健康に対する
正しい知識

商品の割引など

ご清聴ありがとうございました



出典

和歌山県ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/> 2019/11/9

総務省

www.soumu.go.jp/ 2019/11/9

総務省統計局

<https://www.stat.go.jp/> 2019/11/9

e-Stat 政府統計の統計窓口

<https://www.e-stat.go.jp/> 2019/11/9

「衛生行政報告例」 厚生労働省(2004/2009/2014)

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/04-2/index.html> 2019/11/9

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/09/index.html> 2019/11/9

https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei_houkoku/14/ 2019/11/9



出典

「全国消費実態調査」（2004/2009/2014） 総務省統計局統計調査部消費統計課

<http://www.stat.go.jp/data/zensho/2004/index.html> 2019/11/9

<http://www.stat.go.jp/data/zensho/2009/index.html> 2019/11/9

<http://www.stat.go.jp/data/zensho/2014/index.html> 2019/11/9

「人口推計」（2004/2009/2014） 総務省統計局

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2004np/index.html> 2019/11/9

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2009np/index.html> 2019/11/9

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2014np/index.html> 2019/11/9

「県内総生産（生産側、実質:連鎖方式）」（2004/2009/2014） 内閣府県民経済計算

https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kenmin/files/contents/main_h26.html 2019/11/9

